



日本シイエムケイ株式会社
(証券コード: 6958)

中期経営計画

2015年 5月 25日

日本シイエムケイ株式会社

中期経営方針



◆ 経営基盤の盤石化から **成長路線**へ

◆ **車載基板市場**での競争優位確立

(単位:億円)

	実績	計画		
	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期
売上高	737	750	820	900
営業利益	6	15	25	45
営業利益率	0.8%	2.0%	3.0%	5.0%
当期純利益	11	7	16	30
自己資本利益率(ROE)	2.2%	1.2%	2.9%	5.0%

※想定為替レート:USD…115円、EUR…125円

◆ これまでの施策

・ 不採算事業の整理

- 片面基板事業
- ALIVH®基板事業

利益改善効果

6億円/年

4億円/年

・ コスト削減のための事業構造改革

- 山梨・マレーシアの工場閉鎖
- 非上場子会社4社の吸収合併
- 希望退職の実施

4億円/年

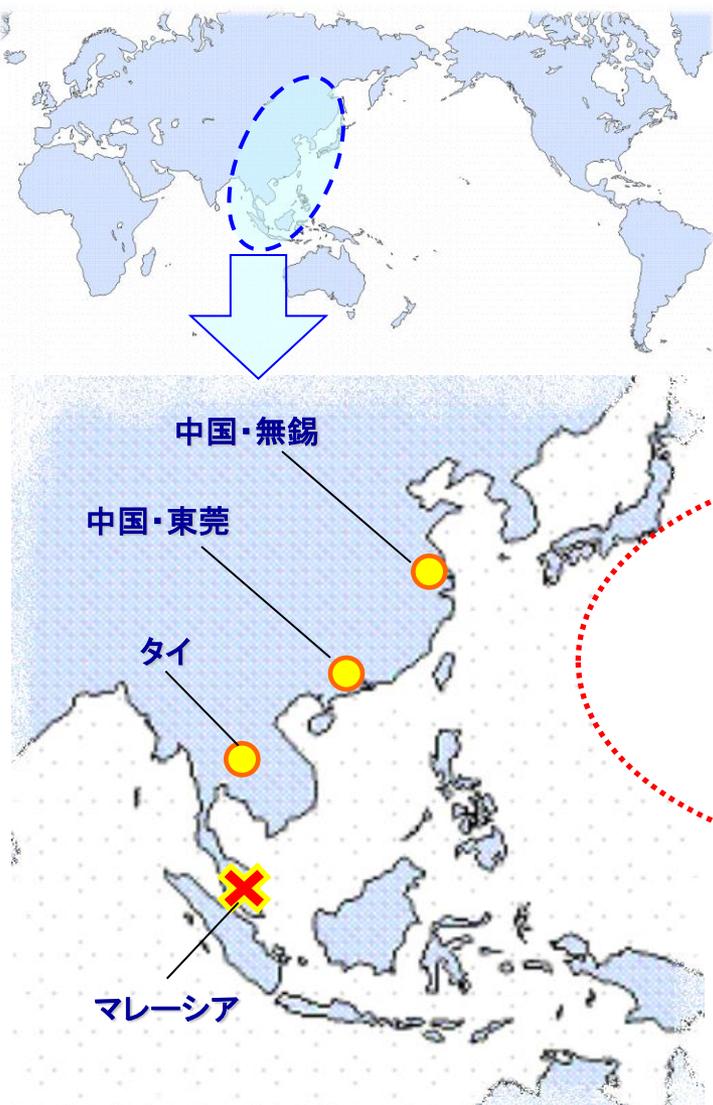
など



2011/3期営業赤字10億円⇒2015/3期営業利益6億円

赤字体質から脱却 ⇒ **成長路線**へ

経営基盤の盤石化－拠点状況



【生産拠点の集約】
国内： 8→6拠点
 (7→2社)
海外： 4→3拠点
合計：12→9拠点

✕ …2015年5月時点 閉鎖済み

◆重点市場

①車載基板市場

・・・『車載基板市場でのグローバル
リーディングメーカーとしての地位盤石化』

②通信デバイス市場

・・・『カメラモジュール、通信モジュールなど、
成長市場への拡販』

① 自動車生産台数の増加

- 中国を始めとする新興国が需要を牽引

② 自動車用電装システムの拡大

- 環境規制の強化、燃費改善のため、
パワートレイン系の電装化拡大

③ 安全装置の普及

- カメラ、ミリ波レーダー等の搭載
- 自動運転技術の普及拡大

車載基板の市場は、今後更に拡大

車載市場の見通し



◆ 自動車に採用されているプリント配線板とECU市場予測 拡大する車載基板市場で

高信頼性・グローバルネットワークを武器に

リーディングメーカーとしての地位を盤石にします。

【BCM ECU】

2014年：8,398万個
2018年：10,052万個

【メーターECU】

2014年：8,906万個
2018年：10,273万個

【ヘッドライトECU】

2014年：687万個
2018年：1,311万個

【エアコンECU】

2014年：2,959万個
2018年：3,613万個

【エンジンECU】

2014年：8,734万個
2018年：9,915万個

【トランスミッションECU】

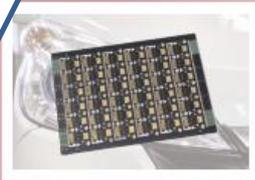
2014年：3,926万個
2018年：5,014万個

【DC/DCコンバータ】

2014年：233万個
2018年：531万個

ボディ系

BCM、メータパネル、
ヘッドライト、カーエアコン等



カーナビゲーション
カーオーディオ等

ITS系

ETC、ミリ波レーダ等



【カーナビECU】

2014年：778万個
2018年：892万個

【カーオーディオECU】

2014年：4,966万個
2018年：5,559万個

【レーダーセンサー】

2014年：1,214万個
2018年：3,165万個

パワートレイン系

エンジン ECU、IPM、MG
DC/DCコンバータ等



走行・安全系

ECB、VSC、
EPS、エアバック等



【ECB ECU】

2014年：6,992万個
2018年：9,415万個

【パワーステアリング ECU】

2014年：4,016万個
2018年：5,803万個

【エアバック ECU】

2014年：7,324万個
2018年：8,474万個

出所：「2014車載ECU関連市場の現状と将来展望」富士キメラ総研より当社作成

(2014年は見込、2018年は予測値を使用)

◆ カメラモジュール

- スマートフォンの普及、セキュリティ機器の増加等により市場拡大

◆ 通信モジュール

- Wi-Fi搭載機器の増加、ウェアラブル機器の普及、スマート家電対応等、通信モジュールの用途は更に拡大

◆ CMKのモジュール用配線板

通信デバイス市場で、高密度・高信頼性の製品群で販売を拡大します。

分野

Fields

カーエレクトロニクス Car electronics



運転支援
Drive assist

ITS
Intelligence
transport system

走行安全
Safety drive

民生機器 Consumer appliances

モバイル Mobile



セキュリティ Security



DSC/DVC



医療 Medical



アプリケーション

Application



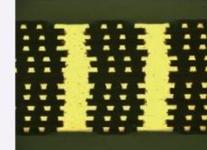
- 各種プロセッサ
Various processors
- 高周波モジュール
High frequency modules
- 無線LANモジュール
Wireless LAN modules
- 通信モジュール
Communication modules
- カメラモジュール
Camera modules
- LEDモジュール
LED modules



CMKの対応製品(製品群)

Products

PPBU (HDI)



Any Layer構造

Super Fine PPBU
高密度 High density

SEPT
高信頼性 High reliability

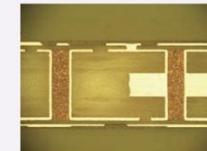
RFシリーズ



2G-RF
高密度 High density

CARFT
高信頼性 High reliability

CMK-COMP



MC-MODULE
高密度 High density

COMP MB
COMP MC
高放熱 High heat radiation

- ① 既存顧客向けの強化
- ② ADASシステム市場の開拓
- ③ 新規顧客の開拓



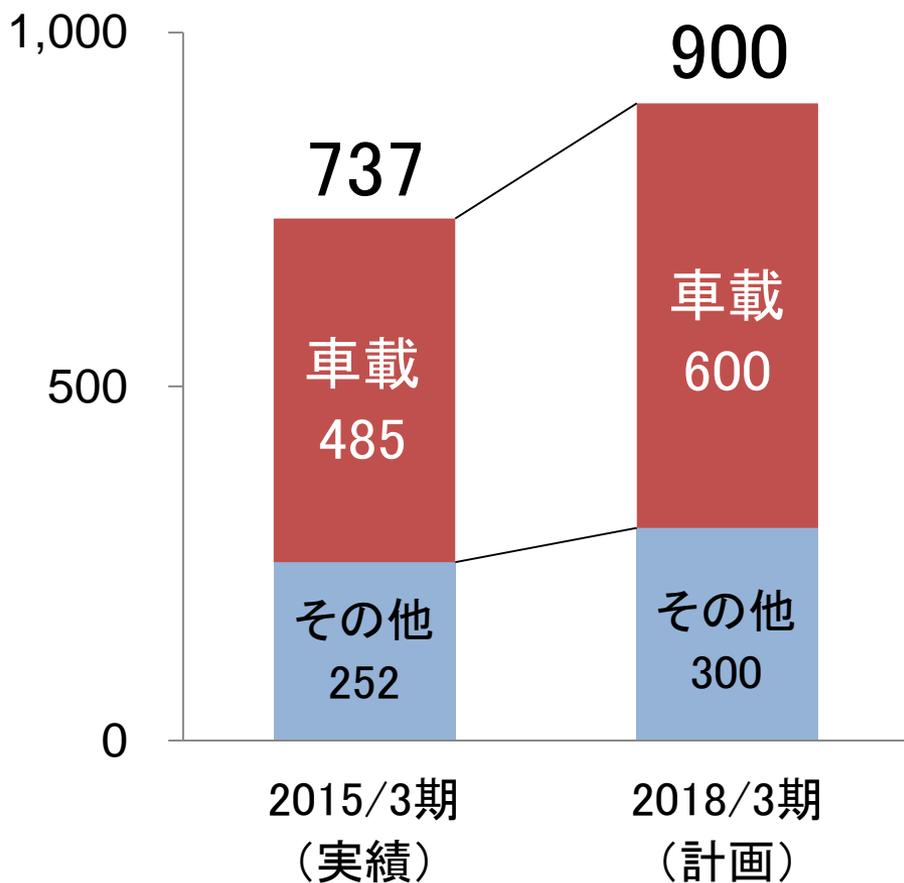
◆ 重点施策

- ワールドワイドの販売網を更に拡充し、顧客へのサービス・サポート体制を強化
- 展示会及び技術交流会の活動強化
- 顧客開発拠点にセールスエンジニアを設置

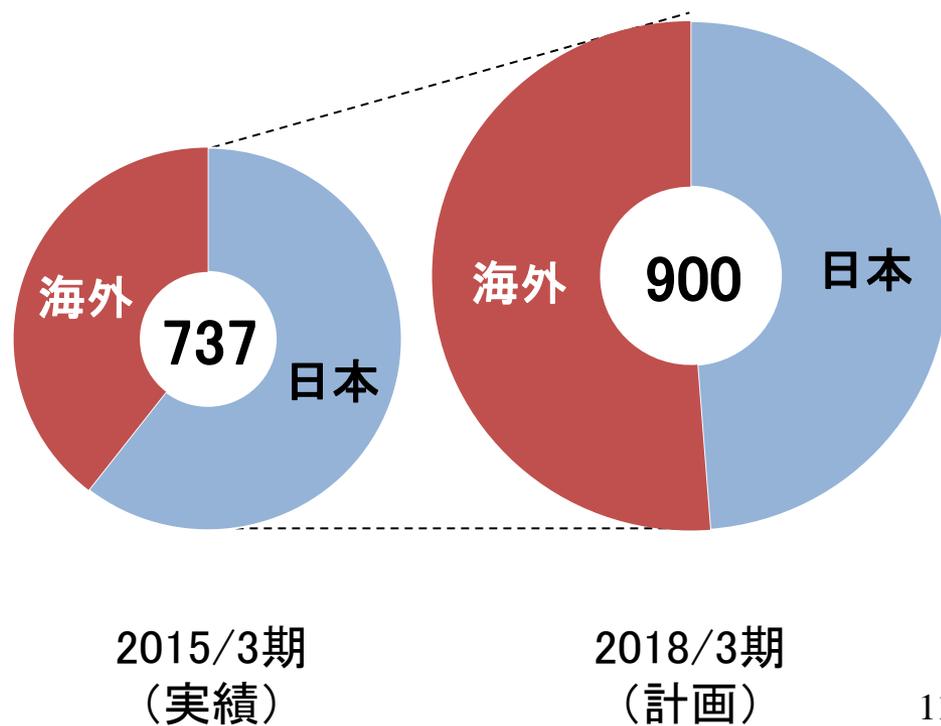
◆ 車載及び通信デバイス市場、海外での売上拡大

(単位: 億円)

【用途別売上高】



【地域別売上高】



総合品質力の強化

① 生産力の強化

- タイ工場の生産能力拡大（現状比＋30%）
 - 2017年 増強に向けた設備投資完了
 - 2018年 フル生産体制
- 歩留向上による生産量の拡大
- 生産単位の見直しによる生産効率化



CMK THAILAND

生産品目： ビルドアップ、多層、両面

主な用途： 車載関連、アミューズメント

② コスト対応力の強化

- グローバル集中購買の強化
- 生産管理の改善による安定生産の実現
- 国内の生産体制縮小に伴う更なる人員のスリム化

③ 品質力の強化

- 品質向上を主眼とした設備投資
 - 製造工程の更なる自動化により安定品質を実現
- 国内の生産システムを海外へ移植
 - グローバルでの共通品質を実現
- 製販一体の品質保証体制を更に強化
 - 顧客への品質対応をグローバルで強化

総合品質力強化の施策



施策	生産力	コスト 対応力	品質力
品質向上を主眼とした設備投資	◎	○	◎
歩留向上による生産量の拡大	◎	◎	○
国内の生産システムを海外へ移植	○	○	◎
生産管理の改善による安定生産の実現	○	◎	
生産単位の見直しによる生産効率化	◎	○	
製販一体の品質保証体制を更に強化			◎
グローバル集中購買の強化		◎	
国内生産体制の更なる人員スリム化		◎	

設備投資



(単位: 億円)

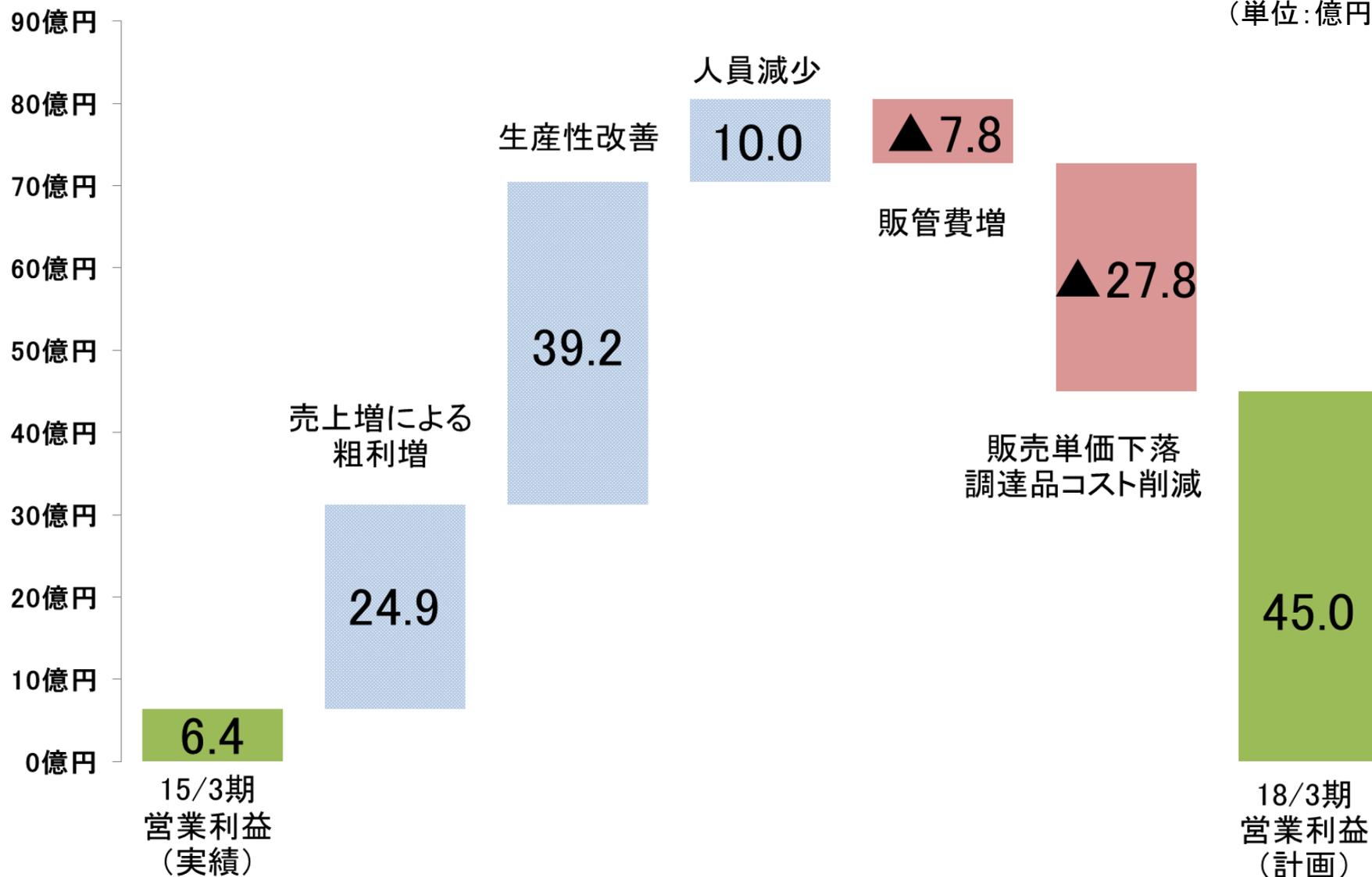
	実績	計画		
	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期
国内	21	19	12	12
海外	24	26	18	18
連結	45	45	30	30
減価償却費	49	46	46	47

- 生産性向上を中心に設備投資を行う。
 - 品質向上を伴う製造・検査工程の自動化
 - 生産単位改善や生産タクト改善を伴う設備更新 など

営業利益増減分析



(単位:億円)



財務戰略

◆これまでの戦略

- 財務体質強化のため、有利子負債の削減を実行
 - 有利子負債約40%削減(2011年3月期対比)
 - 実質無借金化
 - 自己資本比率50%超を維持
- 2015年3月にシンジケートローン(60億円)の契約を締結
 - 成長投資のための資金を確保

◆中期方針

- 収益力の強化により、安定的な営業キャッシュ・フローを創出
- 営業キャッシュ・フローを原資に、成長投資を実施
- 更なる成長に向け、M&A、アライアンスも積極的に検討

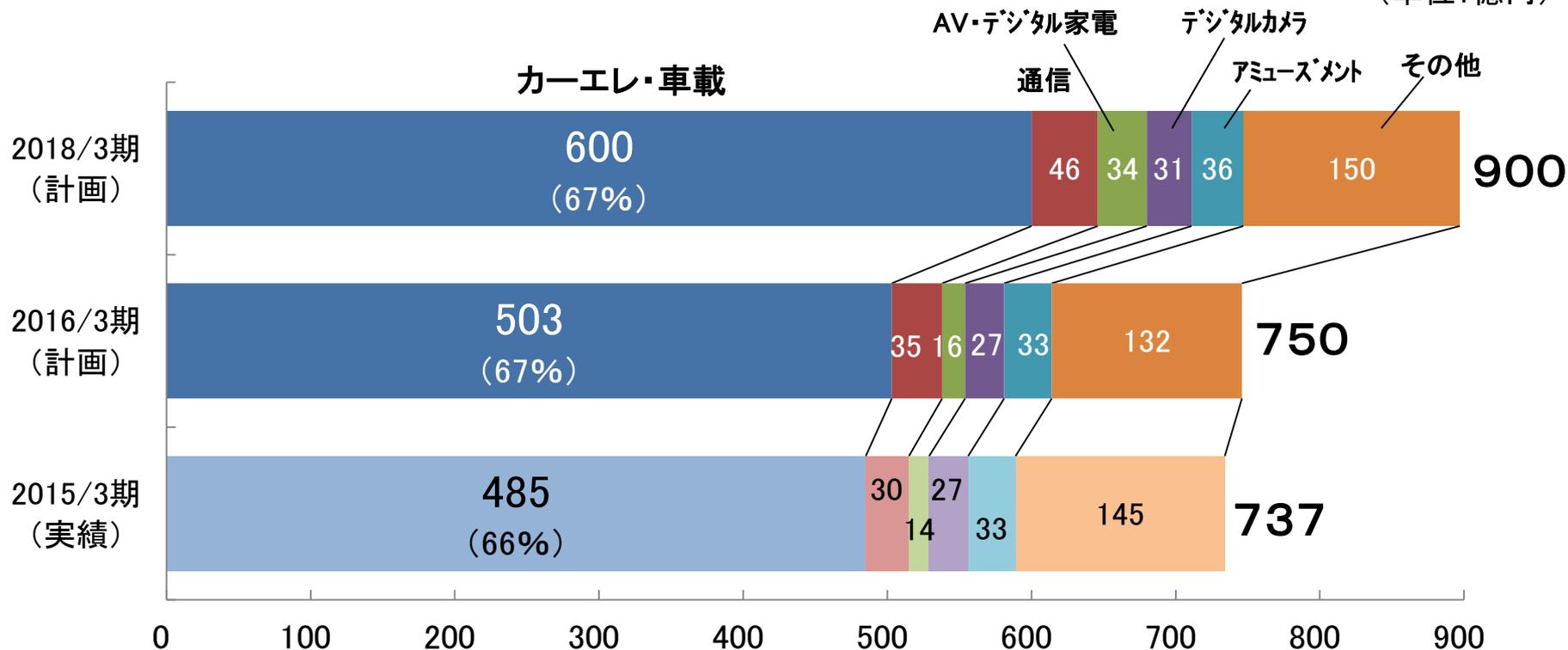
安定的な財務体質を維持しつつ、
積極的な成長投資を実行

(資料)

用途別売上高



(単位: 億円)

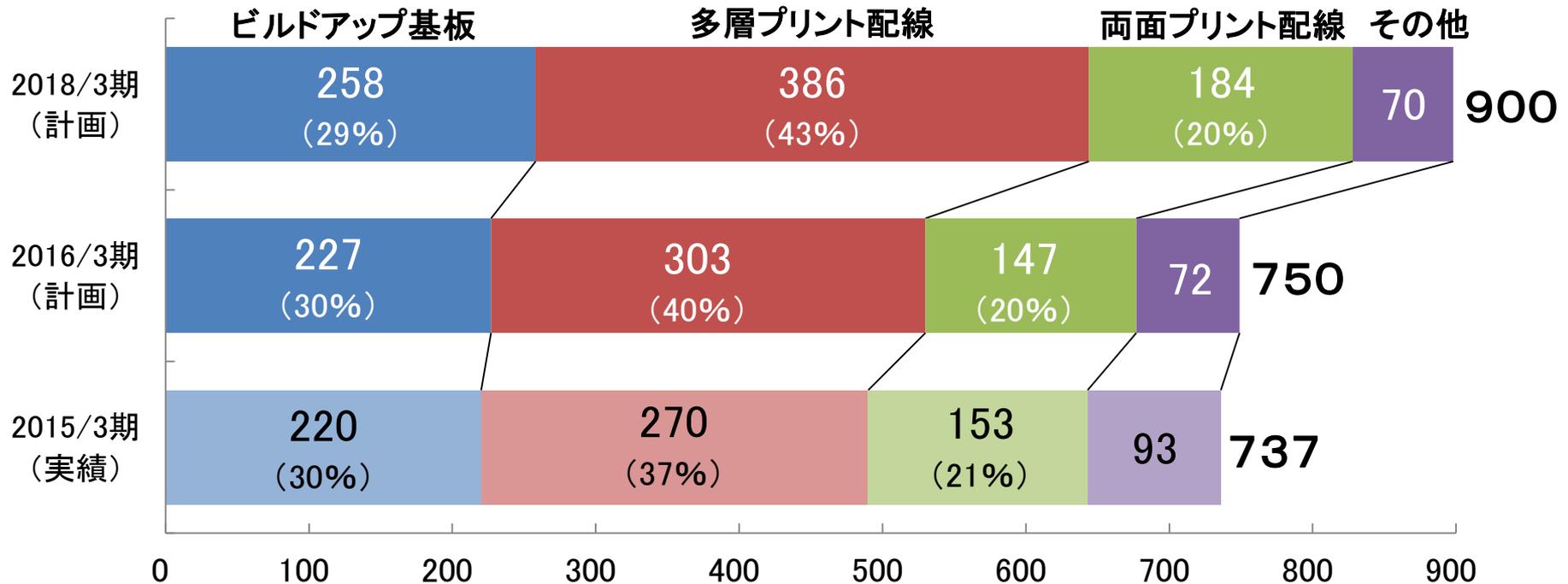


- 海外を中心として自動車関連機器向けの需要が増加
- 通信を中心としてカメラモジュール、通信モジュールの需要が増加

基板種類別売上高



(単位: 億円)

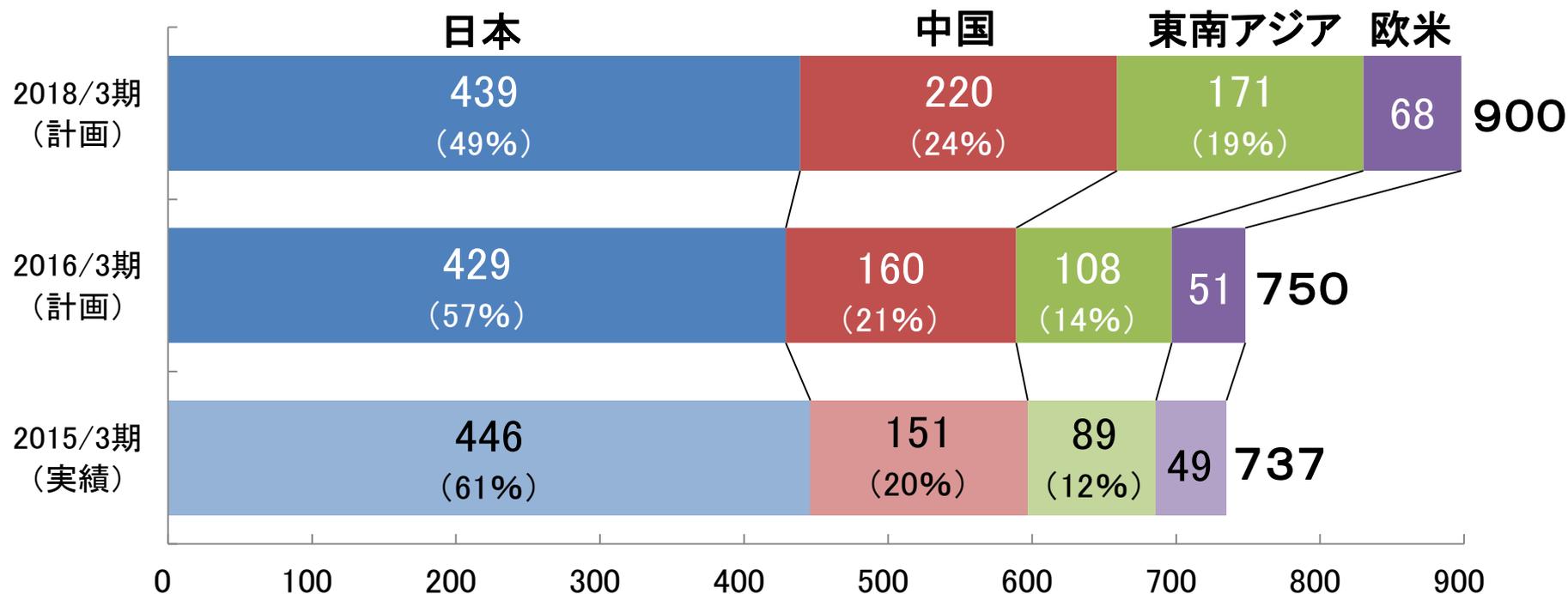


- 自動車関連機器向けの売上増加、通信向けの売上増加により、ビルドアップ基板の売上増加
- 自動車関連機器向けの売上増加により、多層プリント配線板の売上増加

地域別売上高



(単位: 億円)



- 日系電子メーカーの海外シフトに加え、非日系企業への拡販により、国内の売上が減少する傾向に対して、海外の売上が増加

本資料における将来情報は、2015年5月時点での見通しであり、
その実現を保証するものではありません。

(数字は切捨てにて表示)

END